１１月

高野長英記念館の草木

晩秋の候

寒暖の差に加えて　日ごとに寒さが身にしみる　今日このごろ　例年よりは温かいですが　白鳥が飛来し　少しずつ　冬の到来を感じさせる　季節となりました

茶の花　（撮影 10 月 19 日）

＊先月、10 月 30 日は高野長英の命日でした。当日は、多くの方々が参列し、花を手向けました。その中には、茶の花も供えられていました。長英は長崎遊学時代、シーボルトの助手としてシーボルトの日本研究に携わり、「日本における茶樹の栽培及び茶の製法について」と題して翻訳書を著し、シーボルトに提出しています。

センブリの花　(撮影　10 月 19 日)

＊記念館の庭のいたるところに、背丈約 15 ㎝位で可憐な 5 弁の白い花を咲かせています。リンドウの仲間で、別名トウヤク(当薬)とも呼ばれ、試しに味見をした人が「当(まさ)に薬である」と言ったという伝説があるようです。

サザンカ(左)とキダチチョウセンアサガオ(エンゼルトランペット)(右)つぼみ

(撮影 10 月 19 日)

＊これからの季節、花を咲かせる数少ない草木として、サザンカやエンゼルトランペット等があります。エンゼルトランペットは熱帯植物ですが寒さには比較的強く、開花期が長く、香りのある花を咲かせます。花が咲くことを今から楽しみにしています。